

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	25207
----------	-------

1. 開設大学	安田女子大学 文学部 日本文学科	開催方法 (キャンパス・施設)	☒ 対面 (本学) ☐ オンライン (同時・録画)			
2. 科 目 名	古典文学と現代語講座 ①清少納言からのメッセージ・言葉遣いについて ②若者言葉の創造性					
	学問分野	番 号	11	名 称	文化・文学	
3. 担当教員	古瀬 雅義・川岸 克己 (文学部 日本文学科)					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和7年8月4日 (月) 10時10分～14時00分 (90分×2回)					
個別開講日	1回目 8/4	2回目 8/4	3回目 /	4回目 /	5回目 /	6回目 /
5. 募集定員	40人 (受入学年:)					
6. 科目内容・ 授業計画	1. 「清少納言からのメッセージ・言葉遣いについて」 8月4日 10:10～11:40 (古瀬雅義) 私たちは言葉によってお互いにコミュニケーションを取り合っています。そのため「言葉遣い」はとても重要なポイントです。今から千年前に中宮定子に女房として仕えて大活躍したキャリアウーマン清少納言は、『枕草子』に言葉遣いについて痛烈なコメントを記しています。若者言葉に対する見解も記され、「むとす」というべきところを「むず」と言ったり、手紙に書いたりするなんて、とんでもないわ！と憤慨しています。この「古くて新しい問題」について考えてみましょう。 2. 「若者言葉の創造性」 8月4日 12:30～14:00 (川岸克己) 高校生の皆さんに身近な「若者言葉」について言語学の視点からお話します。若者言葉は、大人たちから、一時的で局所的で、そして往々にして間違った言葉である、と、なかなかネガティブな受け取られ方をしてしまいがちです。しかし、これをあえてポジティブに捉え直してみると、目まぐるしい世界を瞬時に捉える、もっとも活気のあるホットスポットで生まれる、新しい世界観を提示する言葉である、と言えそうです。もしかしたら、若者言葉は、これまでの窮屈で閉塞感漂う既存の日本語に新しい世界を提示しようと閃いた言葉たちなのかもしれません。若者言葉は、日本語に対する創造的な企みなのかもしれません。そうした視点から、あなたの手元の言葉を見つめ直してみましょう。					
7. 受 講 料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ ☐ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 女子に限る					
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。